

2005年3月期
決算説明資料

株式会社 マキヤ

2005年3月期 決算概要

事業内容

1.総合店

- (1) グループの基軸となる「エスポット」は食料品から家庭用日用品、家電製品、輸入ブランド&ジュエリー、アウトドア用品など高品質&本物志向の商品を専門店並みの豊富な品揃えとディスカウントストア並の低価格で提供しています。

「ESPOT」の「E」に織り込まれた5つの指針は

Excellent(高品質の品揃え)

Every Day(毎日が特売)

Enjoy(楽しめる売場)

Earnest(誠実な小売業)

Eternal(永遠の企業努力) で、これは全事業に通じるものです

- (2) ホームセンター「マキヤ」は家庭用日用品、インテリア用品、DIY用品、園芸用品、ペット用品などの幅広い品揃えと「どこよりも安く」をモットーに地域のお客様に親しまれる店づくりを行っています。

2.専門店

- (1)「ヤベデンキ」は静岡県初の量販型家電専門店として誕生以来、どこよりも安い家電専門店として地域に浸透し、成長して来ました。「しっかり保証、責任修理」をモットーに、5年間の長期保証や無料配達など、お客様サイドに立った独自のサービスに心がけ、幅広い層のお客様に足を運んでいただける店づくりに努めています。
- (2)「ハードオフ&オフハウス」は不要になった商品の買取りおよび販売を行うリサイクル・ショップです。パソコンやAV機器、楽器、腕時計、カメラなどを対象とする「ハードオフ」。家具やインテリア、ギフト、生活雑貨などを対象とする「オフハウス」を単独および複合で展開しております。取扱商品は独自の査定データベースにより買取り入念な点検・修理・クリーニングを経て次のお客様へ。リサイクル事業を通じ地球資源・環境問題にも一役買っています。
- (3)「業務スーパー」は減農薬・無添加の食品など健康的で安全、しかもプロも満足するような高品質な商品をキャッシュ&キャリアのシステムを採用することにより、通常より少ないコストで店舗運営が可能となり、その分無理なく商品を低価格で提供しています。

2005年3月期の総括

今期の業績は総合ディスカウント店「エスポット」1店舗、業務用食料品販売店「業務スーパー」2店舗の計3店舗の新規開店と既存店の業態変更で「エスポット」2店舗、「業務スーパー」1店舗、複合型インターネット・カフェ「メディア・アイランド」1店舗の計4店舗の開店をいたしました。一方ホームセンター「マキヤ」1店舗、家電専門店「ヤベデンキ」1店舗の計2店舗の閉店と関連子会社である「ひのや」の13店舗を「ポテト」とネーミング、改装いたしました。

これにより売上高676億1千9百万円(前期比120.8%)、経常利益は16億2千2百万円(前期比138.6%)、当期純利益は7億2千6百万円(前期比173.1%)となりました。

なお、前年度の数値は連結対象となりました「ひのや」の業績は半期分となっております。

当期は記録的な猛暑に支えられ、夏物商材は出足好調なスタートを切ることが出来ました。

しかし、夏後半の既存店売上高は前年を割り、夏物商材の1シーズン中の売上はわずかな伸び率に留まりました。夏以降も歳末商戦などにおいて、消費にやや明るい兆しを感ずることが出来ました。年明けから再び既存店売上高が前年比マイナスとなり、期中の既存店売上高は前期比96.7%に留まりました。

また、グループを上げて扱い商品の見直し、仕入価格の見直しを行い粗利益率の改善や経費の削減にも取り組んだ結果、増収・増益となることができました。

2005年3月期 業績推移(連結)

	2001年3月期	2002年3月期	2003年3月期	2004年3月期	2005年3月期
売上高(百万円)				55,984	67,619
売上総利益(百万円)				12,479	15,746
販売管理費(百万円)				11,462	14,343
営業利益(百万円)				1,017	1,402
営業利益率(%)				1.8	2.1
経常利益(百万円)				1,170	1,622
経常利益率(%)				2.1	2.4
当期純利益(百万円)				420	726
当期純利益率(%)				0.8	1.1

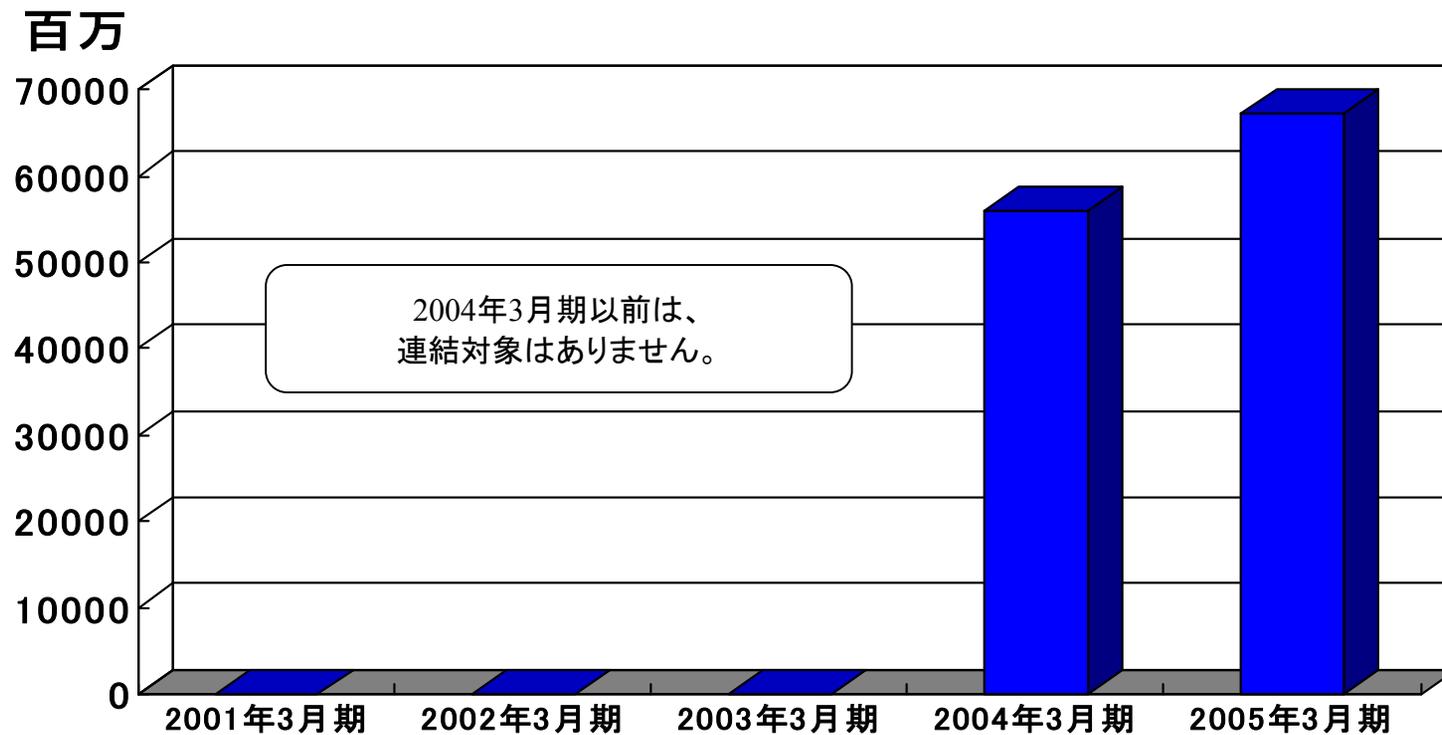
2004年3月期以前は
連結対象はありません。

2005年3月期資産/収益性(連結)

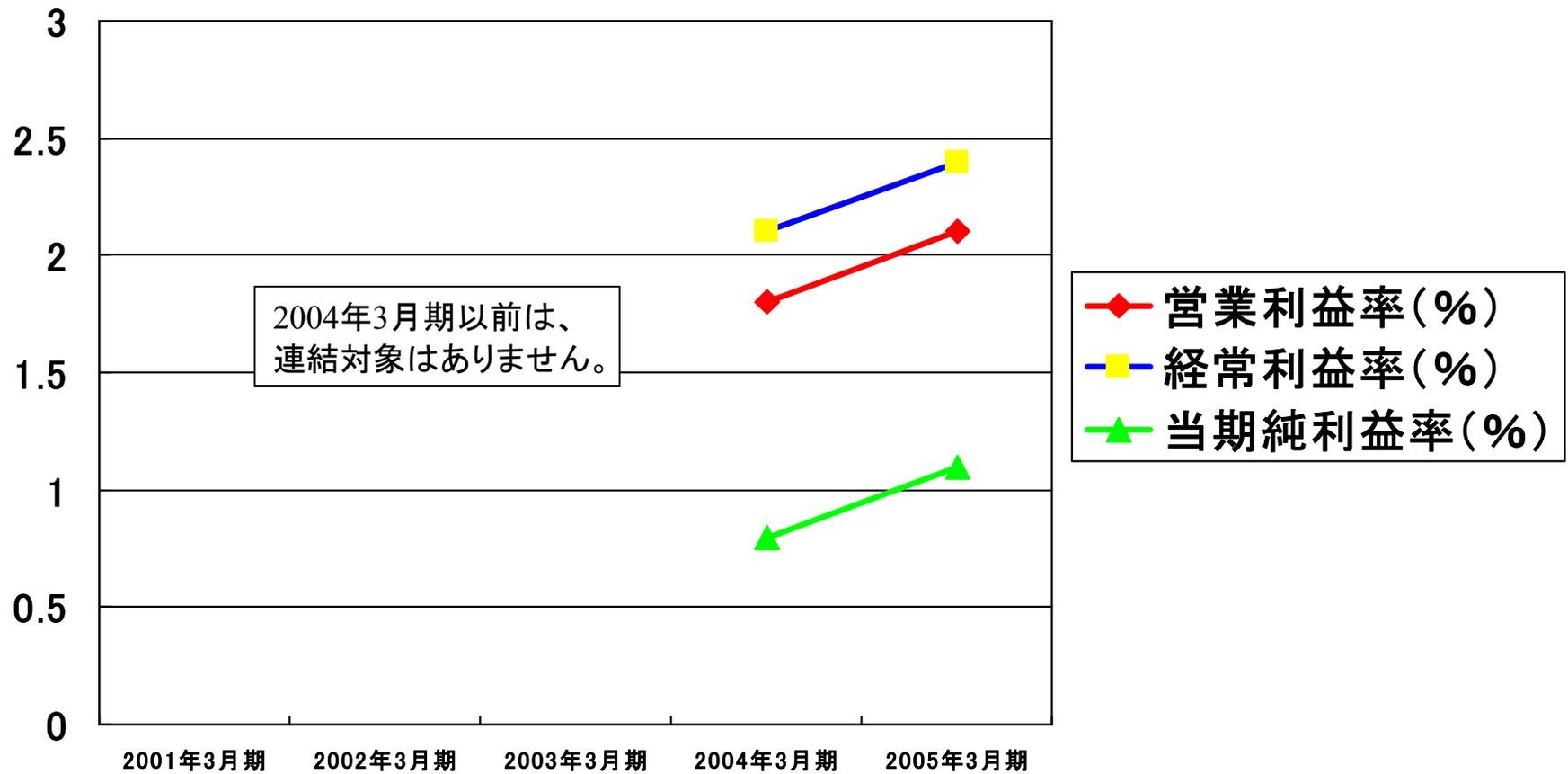
	2001年3月期	2002年3月期	2003年3月期	2004年3月期	2005年3月期
総資産額(百万円)				31,896	32,208
純資産額(百万円)				10,303	11,262
自己資本比率(%)				32.3	35.0
1株当たり純資産額(円)				998.38	1,067.42
1株当たり当期純利益(円)				38.38	68.03
総資本当期純利益率(%)				1.32	2.26
自己資本当期純利益率(%)				4.08	6.46

2004年3月期以前は
連結対象はありません。

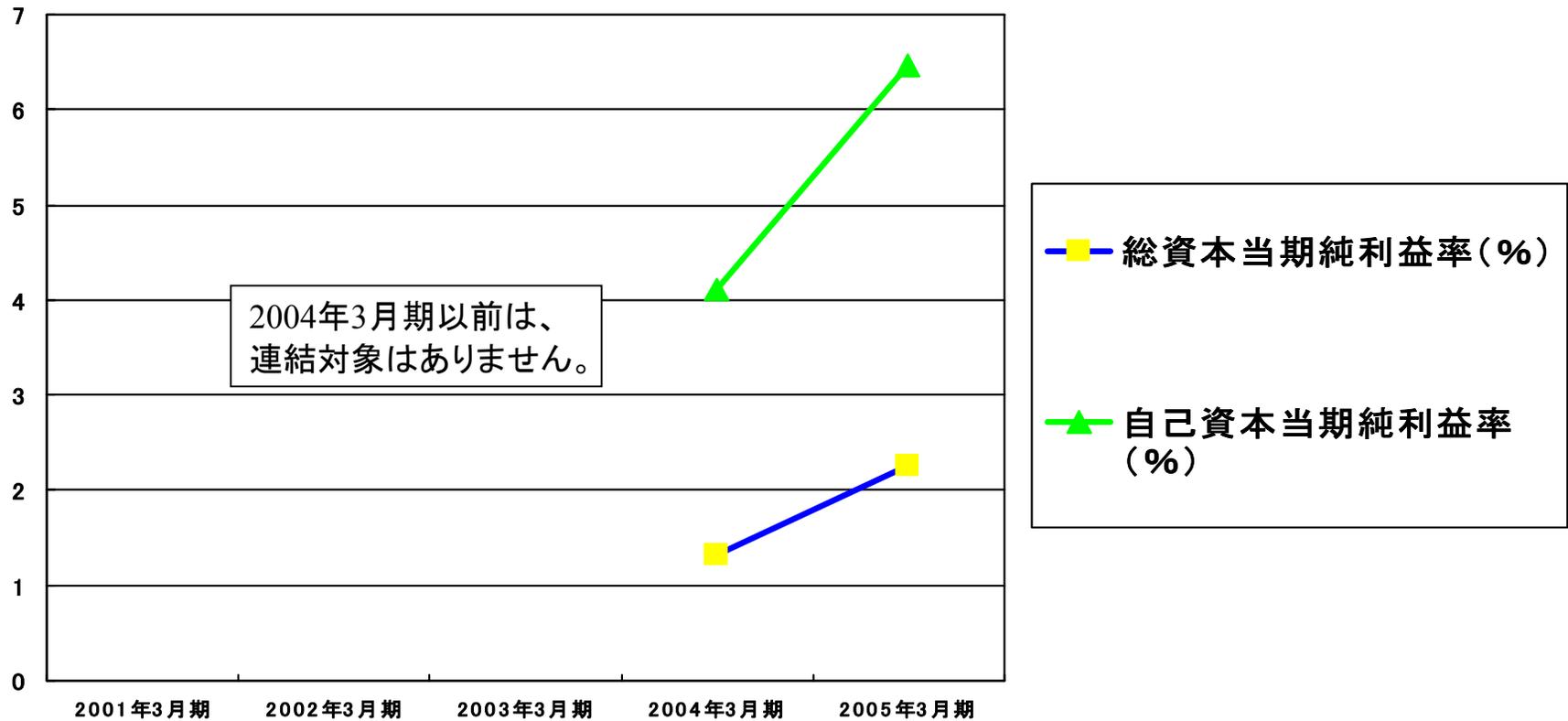
売上高推移(連結)



利益率推移(連結)



収益性指標(連結)



部門別売上推移(連結)

	売上単位(百万円)				
	2001年3月期	2002年3月期	2003年3月期	2004年3月期	2005年3月期
家庭用品				7,967	7,938
家庭電気製品				13,012	11,707
インテリア用品				1,999	1,929
カー・レジャー用品				3,087	2,928
DIY用品				3,469	3,325
食品				25,851	39,714
その他				595	78
計				55,984	67,619

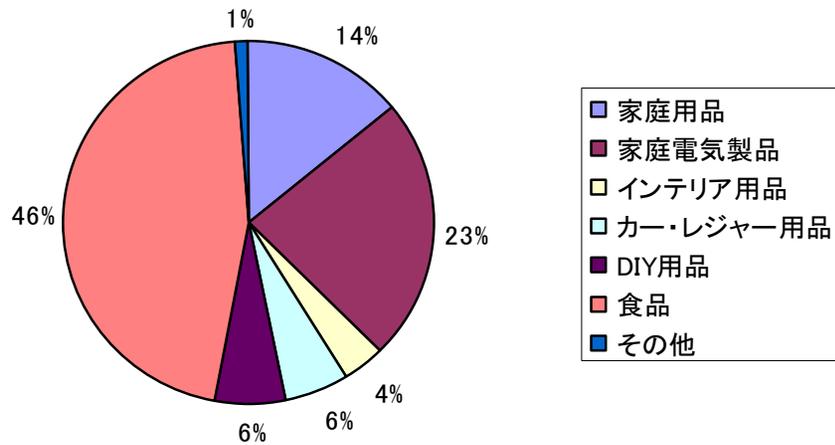
2004年3月期以前は、
連結対象はありません。

2005年3月期業績推移(单独)

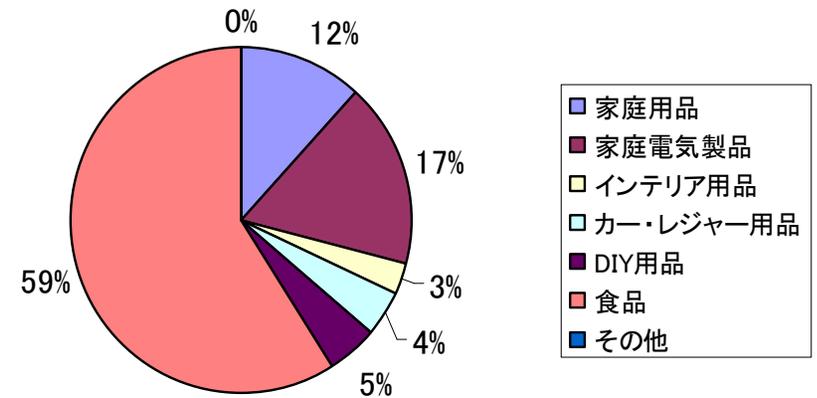
	2001年3月度	2002年3月度	2003年3月度	2004年3月度	2005年3月度
売上高(百万円)	51,368	48,658	45,476	42,797	42,286
売上総利益(百万円)	10,199	9,991	9,538	9,275	9,373
販売管理費(百万円)	9,422	9,188	8,848	8,183	8,394
営業利益(百万円)	777	803	689	1,092	980
営業利益率(%)	1.5	1.7	1.5	2.6	2.3
経常利益(百万円)	1,172	1,272	1,216	1,283	1,151
経常利益率(%)	2.3	2.6	2.7	3.0	2.7
当期純利益(百万円)	574	587	612	571	591
当期純利益率(%)	1.1	1.2	1.3	1.3	1.4

部門別売上推移(連結)

2004年3月度部門別売上推移(連結)



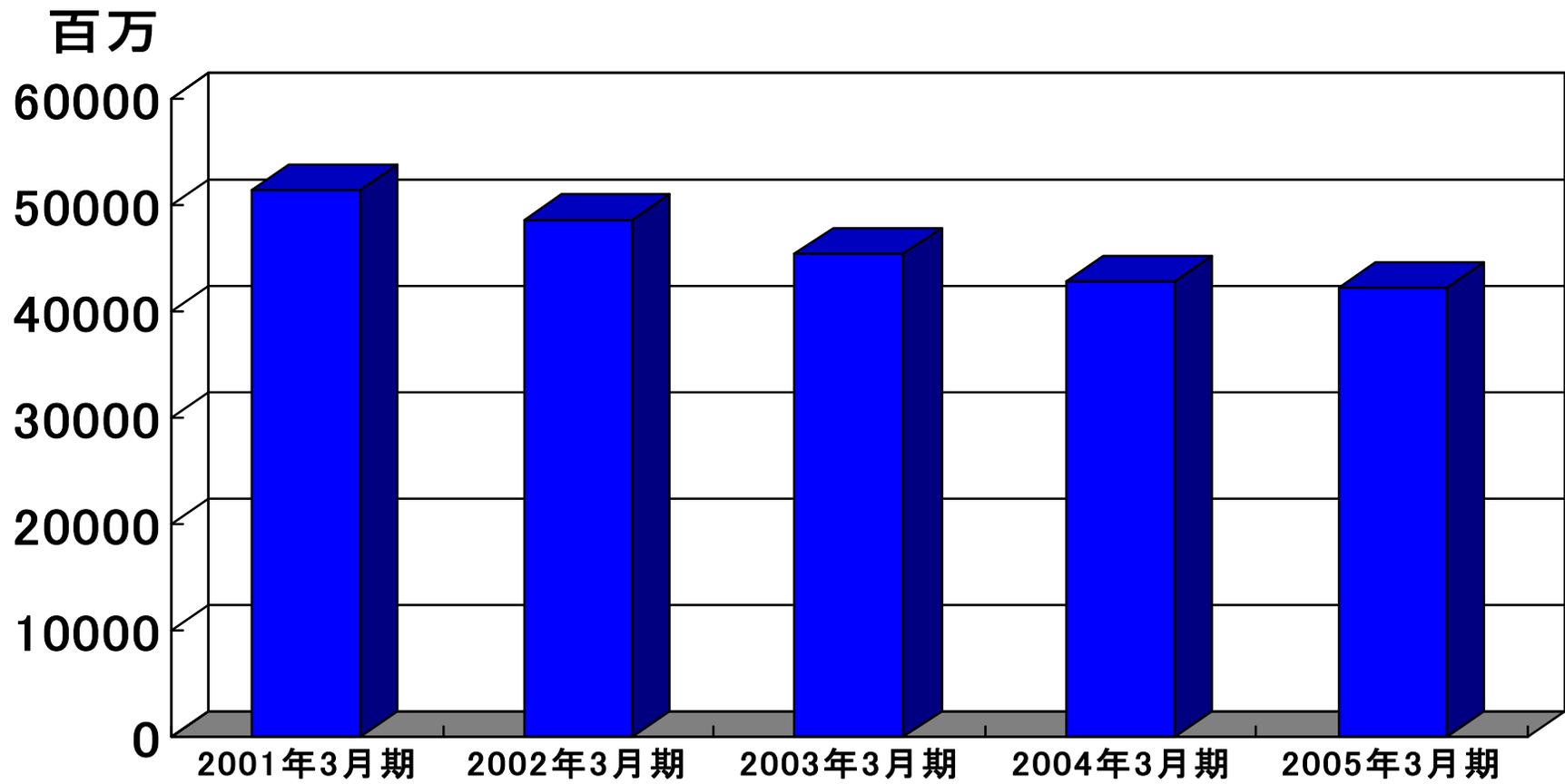
2005年3月期部門別売上推移(連結)



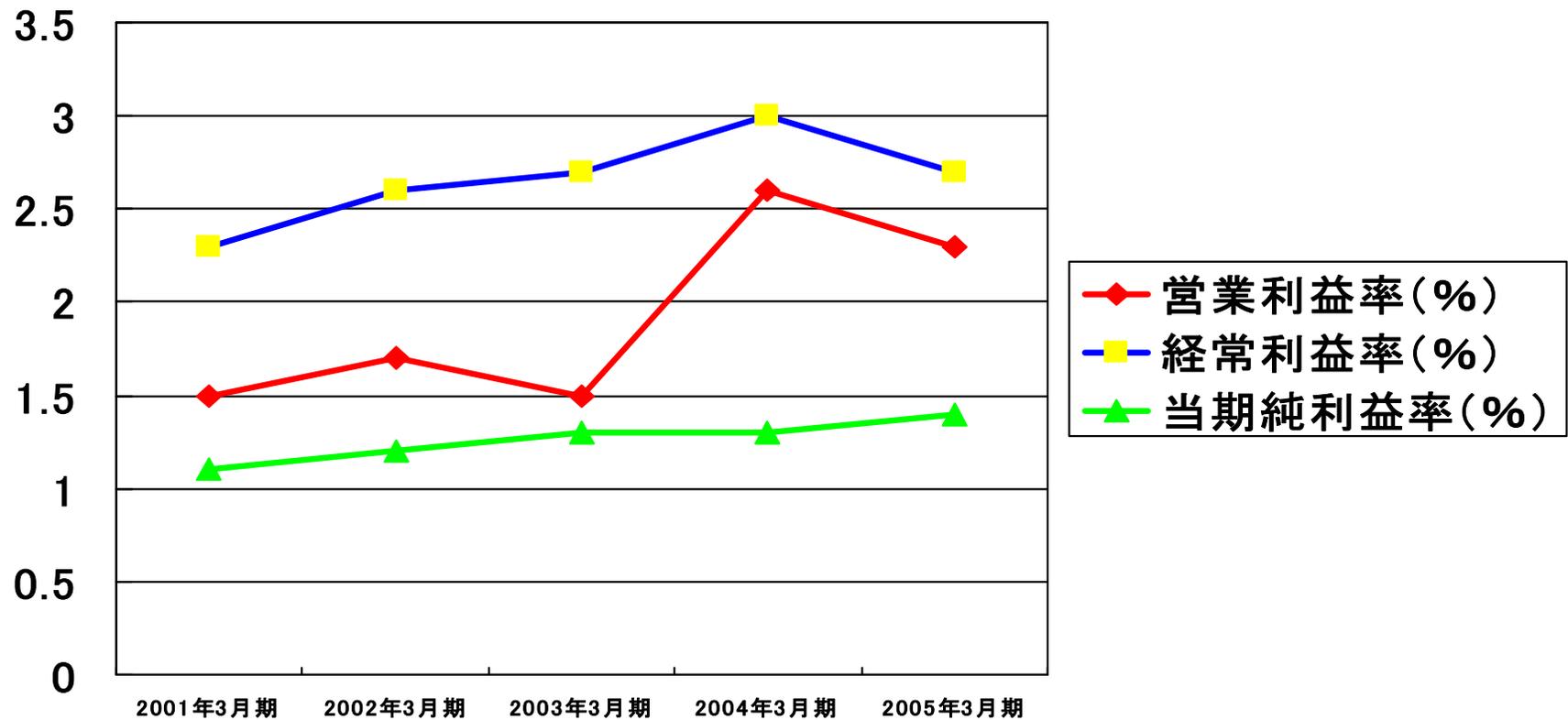
2005年3月期資産/収益性(単独)

	2000年3月度	2001年3月度	2002年3月度	2003年3月度	2004年3月度	2005年3月度
総資産額(百万円)	25,109	26,590	25,445	23,925	26,451	27,903
純資産額(百万円)	8,777	9,211	9,676	10,108	10,454	11,040
自己資本比率(%)	35.0	34.6	38.0	42.3	39.5	39.6
1株当たり純資産額(円)	833	874	918	958	1,013	1,046
1株当たり当期純利益(円)	65.53	54.47	55.78	56.86	52.75	54.98
総資本当期純利益率(%)	2.75	2.16	2.31	2.56	2.16	2.12
自己資本当期純利益率(%)	8.20	6.23	6.22	6.19	5.46	5.35

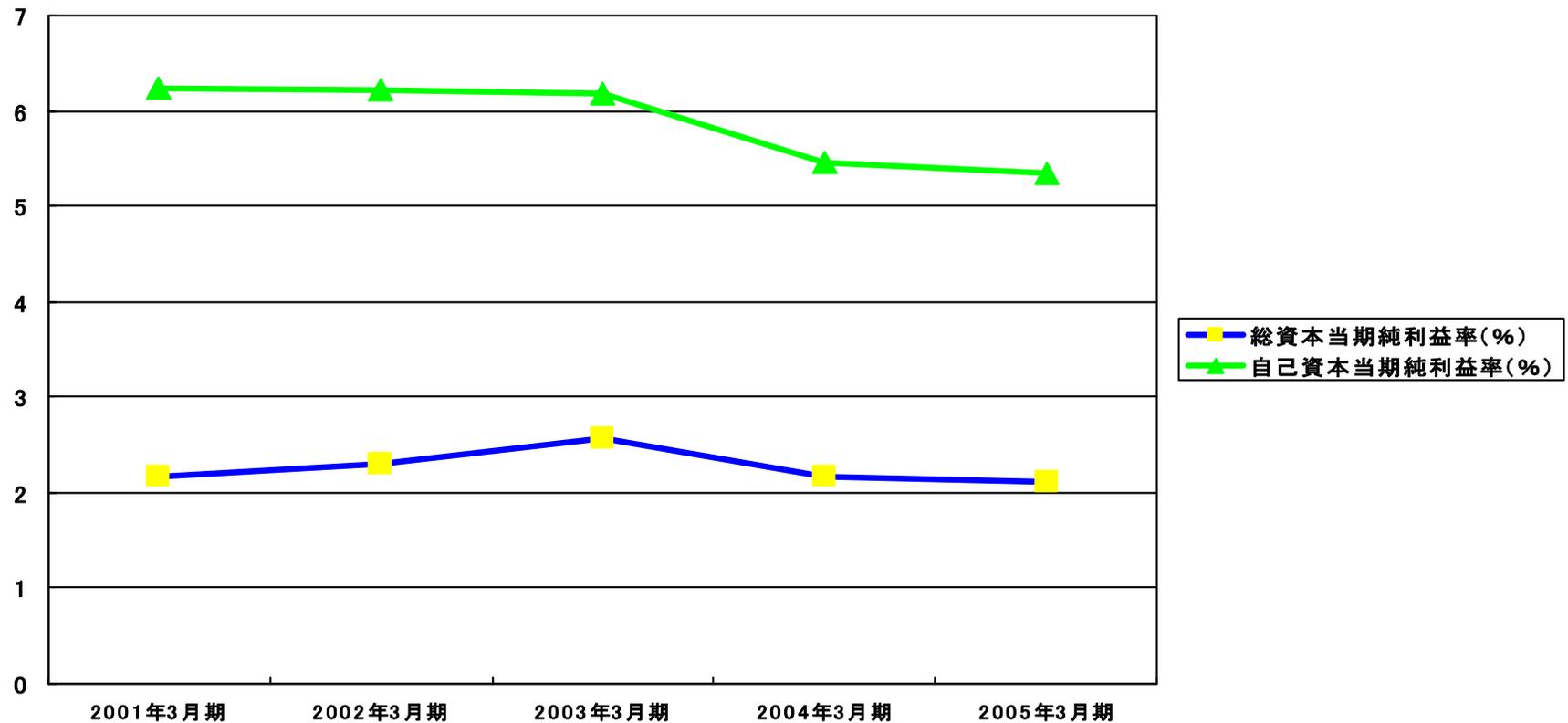
売上高推移(单独)



利益率推移(单独)



收益性指標(单独)

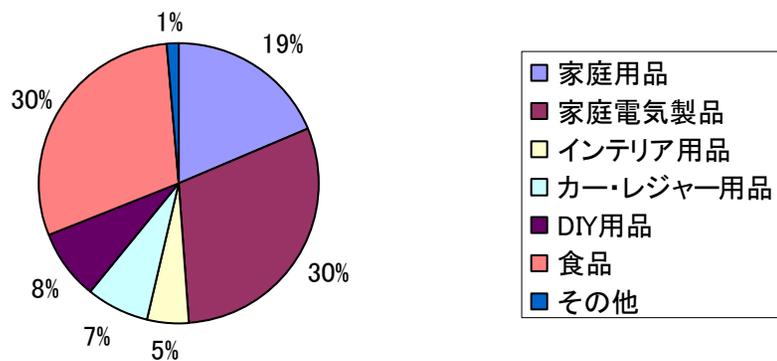


部門別売上推移(単独)

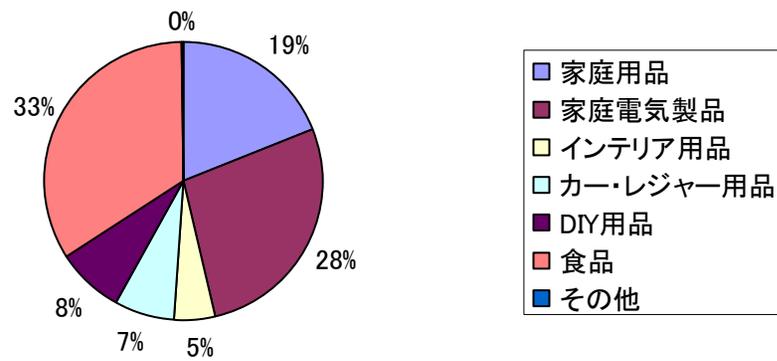
	2001年3月期	2002年3月期	2003年3月期	2004年3月期	2005年3月期
家庭用品	9,832	9,353	8,669	7,967	7,938
家庭電気製品	19,895	16,816	15,625	13,012	11,707
インテリア用品	2,870	2,666	2,324	1,999	1,929
カー・レジャー用品	4,432	4,487	3,713	3,087	2,928
DIY用品	4,344	4,185	3,930	3,469	3,325
食品	9,995	11,152	11,216	12,664	14,381
その他				595	78
計	51,368	48,658	45,476	42,797	42,286

部門別売上推移(単独)

2004年3月度部門別売上推移(単独)



2005年3月度部門別売上推移(単独)



2006年3月期の業績予想(連結)

	今期	来期(予想)	前期比
売上高	67,619百万円	68,500百万円	101.3%
営業利益	1,402百万円	1,200百万円	85.6%
経常利益	1,622百万円	1,650百万円	101.7%
当期純利益	726百万円	550百万円	75.76%
1株当たり 当期純利益	68円03銭	52円21銭	76.7%

- ホームセンター「マキヤ」から総合ディスカウント店「エスポット」への業態変更による新店4店舗、リサイクル店「オフ・ハウス」1店舗及び業務用食料品販売店「業務スーパー」2店舗の新規開店を計画しております。また子会社「ひのや」におきましても、食品スーパー「ポテト」の新店1店舗と既存店舗の改装を兼ねた「ポテト」への業態変更を計画しております。
- 減損会計による特別損失を4億円見込んでおります。

当社の経営方針・中期経営計画

■今後の経営方針

目標とする経営数値といたしましては、ROA(総資本利益率)、ROE(株主資本利益率)等の資本効率に視点を置いた経営指標を重視し、これら経営数値を改善する為の経常利益率や総資本回転率の向上を目指しております。毎期予算の立案における新規の店舗・設備等の投資案件についてもROI(投下資本経常利益率)を個別に点検し、経営効率と財務体質の更なる改善に努めてまいります。

■中期経営計画

- (1)出店戦略といたしましては、総合ディスカウント店「エスポット」業態を核とした、複合形式の大型店開発に注力し、神奈川県等にも積極的に出店をしていく計画です。
- (2)業態展開の中で、特に食料品販売に関しては、「エスポット」の食料品販売に加え、業務用食料品販売の「業務スーパー」、関連子会社の食品スーパー「ひのや」等、食料品販売業態のバリエーションがグループ内に充実し、売上高構成比が高まってきました。仕入・物流面に関しましてはスケールメリットによる利益率の向上を目指し、出店に関してはそれぞれの店舗の特徴を生かしつつ、地域特性に合わせた展開をしてまいります。
- (3)リサイクルショップ「ハード・オフ」店の出店においては、家具・衣料品等のリサイクルショップ「オフ・ハウス」との複合出店によって、より大型の店舗形態を計画しております。

IR窓口 総務部広報課

055-923-1171

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予想し得る範囲で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予想し得ないような特別事情の発生または通常予想し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

尚、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願いいたします。